

2012年4月3日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

定時社員総会特別企画

東日本大震災特別企画「大震災を克服し持続可能な社会を築くために」

一般社団法人日本機械学会(東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階, 会長: 佐藤順一(株)IHI 検査計測 代表取締役社長)は、東日本大震災直後に立ち上げた分科会の活動の一端をご報告するとともに皆様からのご意見をいただく場として、昨年9月に開催した本会年次大会における市民フォーラムに引き続き、定時社員総会にあわせて東日本大震災特別企画を開催いたします。会員・会員外を問わず多くの方々のご参加を期待しております。

開催日時 2012年4月20日(金)10時~14時40分

会場 明治記念館 富士の間(東京都港区元赤坂2-2-23)

入場無料

会員・会員外を問いません。定員200名になり次第締め切ります。

日本機械学会ホームページ(<http://www.jsme.or.jp/120420.htm>)からお申込み下さい。

*15時~同会場にて開催される定時社員総会および会員パーティは本会会員が対象です。

パネルディスカッション

1) 基調講演

10.10~10.40 『東日本大震災を教訓として、原子力施設のような重要構造物の

耐震性はどのように確保すべきか?』

京都大学 名誉教授 入倉孝次郎

東北地方太平洋沖地震では、設計レベルを超える津波に襲われた福島第一原発が深層防護による安全確保ができず、大事故に至っている。この大震災を教訓として、原子力施設のような重要構造物の耐震性はどのように確保すべきか、について、地震学・地震工学の観点からの問題提起とその解決策について報告する。

2) パネリスト講演 - 原発事故を巡って - (カッコ内は本会東日本大震災調査・提言分科会 WG 名称)

10.40~11.00 『福島第一原子力発電所事故からの教訓』(WG5: エネルギーインフラの諸問題)

東京大学 教授 岡本 孝司

原子力発電所の安全を担保する思想は深層防護である。東日本大震災による発電所への影響を深層防護に従い検討を行うと、何がうまく行き、何が問題であったのかが良くわかる。事象を整理し、俯瞰的に評価する事で、プラント全体のリスクを低減していくことが重要である。

11.00~11.20 『規格基準等の今後の方向性』(WG6: 原子力規格基準等の課題と今後の方向性)

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 副部門長 森下 正樹

福島第一原子力発電所の事故及び他の原子力発電所への地震・津波の影響を踏まえ、規格基準との関連に関する検討、今後の在り方の検討の一端を紹介する。

11.20~11.40 『震災時の危機管理と技術者倫理』(WG7: 地震、原発事故等に関する危機管理)

東京大学 教授 中尾 政之

WG7 では地震・原発事故・物流渋滞等に対する危機管理と技術者倫理を検討した。大損失が生じた結果、危機管理が不十分であった事は明らかであるが、技術者は正直に逃げずに対応したのも確かであり、倫理は保たれていたと信じられる。

3) 討論

11.40~12.10 『ディスカッション』 パネリストは上記 ~ の講演者

特別講演

13.00～13.40 『大震災が問う科学者、技術者の責任と倫理』

独立行政法人 科学技術振興機構 顧問（元東北大学 総長） 阿部 博之

科学技術文明の成果物である原発の事故は何故防げなかったか。事故解明の一助として、標記について、特に組織としての倫理について考察する。

東日本大震災に対する本会の活動報告

13.40～14.10 『東日本大震災調査・提言分科会報告』

日本機械学会東日本大震災調査・提言分科会 主査（横浜国立大学 特任教授） 白鳥 正樹

同分科会は3.11の大震災の後、4月に発足し2年間の予定で活動を開始した。7つのWGから構成され、それぞれが活発に活動を展開している。機械学会においても9月の年次大会をはじめ、部門の講演会などにおいても活動の中間報告が行われている。ここでは約一年が経った現在の活動状況を報告すると共に、今後の活動に向けて会場の皆様からご意見をいただく機会としたい。

14.10～14.40 『長期的視点からの提言分科会報告』

日本機械学会筆頭副会長（東京大学 教授） 金子 成彦

『将来のエネルギー源・エネルギー利用に関する定量的検討評価』、『人工物に対する信頼性・ロバスト性の確立と危機に対する管理制御方法』、『工学を社会に対して適正に説明する方法とそのための機械技術者の人材育成』についての検討結果に基づく提言を行う。

次期会長に金子成彦が内定



日本機械学会の2012年度（第90期）会長に東京大学 大学院工学研究科 教授の金子成彦（かねこ・しげひこ）の就任が内定しました。4月20日の2011年度（第89期）定時社員総会後に就任いたします。

【新会長の略歴】

1954年生まれ、東京大学大学院修了、1981年に東京大学勤務、1985年にマギル大学客員助教授、2003年から現職。日本機械学会フェロー。

日本機械学会の今後の主要行事予定

4月20日	2011年度（第89期）定時社員総会（会場：明治記念館）
7月下旬	2012年度「機械遺産」発表（8月7日「機械の日」に認定）
7月31日 ～8月13日	展示会「日本の先端科学技術の紹介」（会場：国立科学博物館） ・学会賞（技術）、優秀製品賞、機械遺産の紹介
8月4日、7日	機械の日・機械週間記念行事（会場：国立科学博物館、日本学士院） ・記念講演、絵画コンテスト表彰、機械遺産認定
* 機械の日（8/7）・機械週間（8/1-8/7）	を中心に全国各地で関連行事を開催予定
9月9日～12日	年次大会（会場：金沢大学 角間キャンパス）

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上 理
電話（03）5360-3503 / FAX（03）5360-3508
E-mail：inoue@jsme.or.jp